

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09040040

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成20年度～ 事業費：500千円 計画内容：夏まつり開催に係る運営補助金
基本施策	4 商工業の振興	事業優先度	A	
単位施策	3 町民を支える商店街づくりへの支援	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	ふるさと夏まつり盆踊り大会補助事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	夏まつり開催	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	夏まつりの開催年1回	関係例規・法令名	無	
住民参加	無	関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	夏まつり開催に係る運営補助金	夏まつり開催に係る運営補助金	夏まつり開催に係る運営補助金	夏まつり開催に係る運営補助金	夏まつり開催に係る運営補助金	夏まつり開催に係る運営補助金
	事業費(千円)	2,500	500	500	500	500
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	2,500	500	500	500	500	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	500	500	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	500	500				
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等) 夏まつり開催に係る運営補助金 入込観客数:400人	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】					
		※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 年1回	年1回	年1回	年1回	年1回
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 100%	0%	0%	0%	0%
	全体達成率 20%	20%	20%	20%	20%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆				

事業名	ふるさと夏まつり盆踊り大会補助事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田和幸
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	河原 学

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町大通り商店街協同組合	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	イベント実施回数
【抱える課題やニーズは】	予算上の制約と関係者の高齢化	指標(指標計算式/解説)	目標年度 実績年度
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	イベントを実施することで商店街の賑わいを演出し、町民同士・家族同士のふれあいの機会を作る。	① 実施回数	目標年度 実績年度 達成度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	商店街関係者のみならず多くの団体等が関わることにより、町全体の行事として定着し、賑わいのある商店街実現の一端を担う。	②	目標年度 実績年度 達成度
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	補助金の支出	「サンパロットまつり」開催に対する補助金支出。 内容は、子ども盆踊り、仮装盆踊り、抽選会、縁日、売店等の各種アトラクションの実施等。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	当事業は大通り商店街協同組合の財政上の制約によりイベント開催が危惧されたことに起因するものであり、イベント自体も定着してきていることから、今後とも支援が必要と考える。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	25年度は仮装盆踊りを復活させ、好天も影響したことから400人の来場があり、参加者は盆踊りのほか出店等を満喫し、期待した効果はあったと判断する。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	実行団体にとっては、限られた予算・人員の中で企画実施しており、効率的と判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

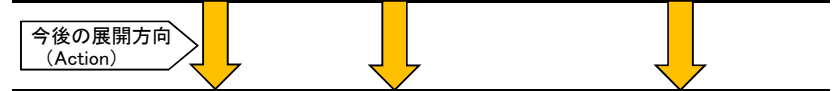
公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民広くを対象としたイベント開催事業であり、雄武町の短い夏のイベントとして定着してきていることから、公平と判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
天候に左右される問題はあるが、町民が集い盆踊りや抽選会を楽しんだことから、目標は達成されたと判断する。		



継続/現状維持		
商店街関係者のみならず多くの団体等が関わることにより、町全体の行事として定着させる、更には仮装盆踊りのような参加型イベントとするための工夫が必要である。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止